

グリスロでつながる ゆつくりを軸とした「暮らし良し倉吉」周遊滞在型観光まちづくり

応募様式A

打吹つながるモビリティ共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	倉吉市
事業実施地域	鳥取県倉吉市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 商業・農業 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	倉吉市、中部タクシー共同組合（日本交通㈱）、一般社団法人倉吉観光MICE協会、株式会社中広、倉吉町並み保存会、倉吉銀座商店街振興組合、社会福祉法人和、成徳地区自治公民館協議会、明倫地区振興協議会、東京大学公共政策大学院
運行形態	グリーンスローモビリティ（一般乗合旅客自動車運送事業）
運行主体	日本交通㈱又は日ノ丸ハイヤー㈱（運行委託による）



取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

●令和7年春の鳥取県立美術館の開館を見据え、重要伝統的建造物群保存地区・倉吉白壁土蔵群を中心とした「周遊滞在エリア」で、「観光客の利便性向上」×「地域住民の暮らし良さの向上」を図る『暮らし良し倉吉』らしい周遊滞在型観光まちづくりを進めている。エリア内は幅員狭小を原因とした交通空白地で、高齢者等の移動手段の確保や観光客の周遊滞在の拡大が課題となっている。これらの課題を解決するため、グリーンスローモビリティの持続可能な運行サービスを実現し、ゆつくりを軸とした暮らし良し倉吉らしいまちづくりを推進する。

（事業の概要）

●周遊滞在型観光地モビリティ向上計画に基づき、地域関係者の共創により、グリスロの運行体制の構築や環境整備、実証運行を行う。

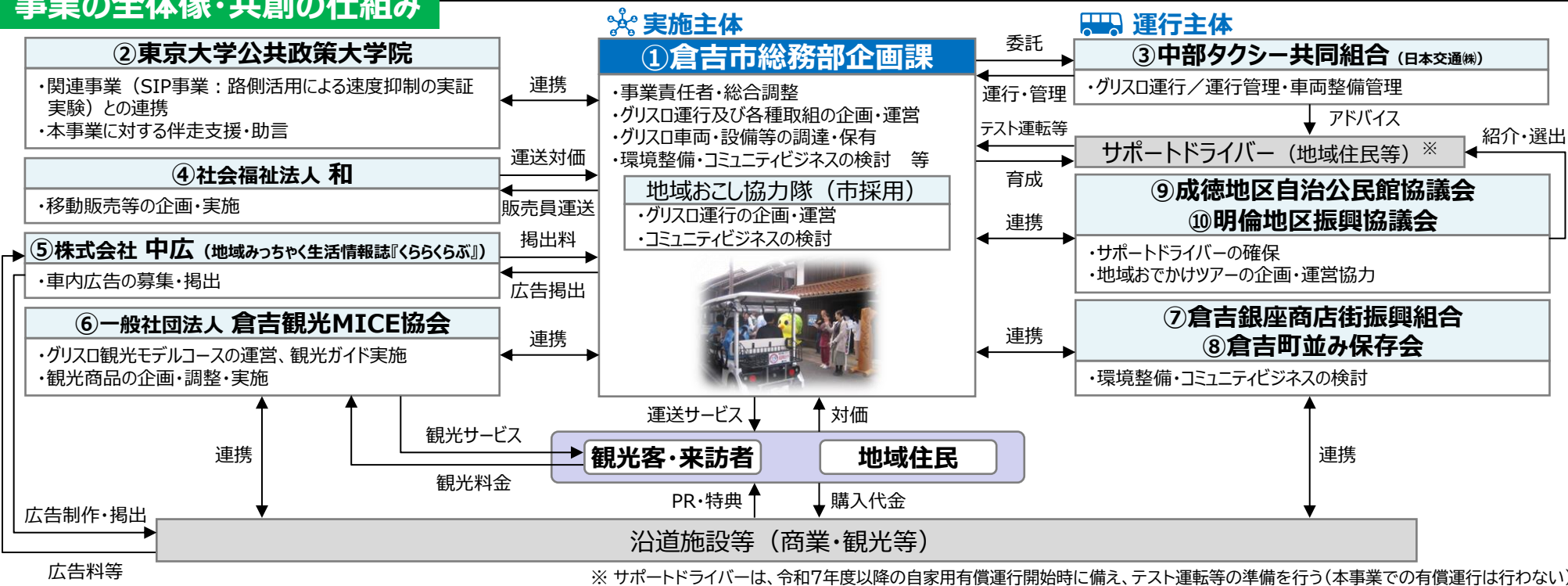
- ①市×交通事業者×観光協会×住民団体によるグリスロ実証運行の実施（運送対価・運行ルートの実証）
- ②市×広告業者・社会福祉法人による車内等における広告宣伝や移動販売の実施（収入確保策の実証）
- ③市×交通事業者×住民団体による運行体制の構築（住民ボランティアを活用した運行体制の実証）
- ④市×商店街組合×地域づくり団体によるコミュニティビジネスの検討や案内標示等の環境整備の実施

グリスロでつながる ゆつくりを軸とした「暮らし良し倉吉」周遊滞在型観光まちづくり

応募様式A

打吹つながるモビリティ共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

- エリア内でグリスロ運行を行うに当たり、地域おこし協力隊とサポートドライバーの協働により、持続可能な運行体制の構築が可能となるとともに、地域の広告業者や社会福祉法人との連携により、運送対価以外の収入を獲得することで、持続性の向上が期待される。
- これらにより、各主体の個別事業の幅を広げると同時に、各種取組の連携により相乗効果が発揮され、事業性の向上が期待される。

（実証事業により見込まれる効果）

- 日常の移動手段が確保されることにより、高齢者等の外出機会の増加につながる。また、観光客の周遊滞在の拡大により、エリア内での消費の増加のほか、地域内外の人の交流が創出されるなど、地域の日常生活と観光とが融合した「暮らし良し倉吉」らしい観光まちづくりを促すことが期待される。

グリスロでつながる ゆつくりを軸とした「暮らし良し倉吉」周遊滞在型観光まちづくり

応募様式A

打吹つながるモビリティ共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

項目	取組主体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
① 実証実験の実施計画の作成	倉吉市(共創プラットフォーム)											
② グリスロ運行に向けた準備												
・地域おこし協力隊の募集・採用・活動準備	倉吉市											
・サポートドライバーの確保	倉吉市、成徳地区自治公民館協議会、明倫地区振興協議会											
・一般乗合旅客自動車運送事業の手続き	倉吉市、交通事業者(日本交通㈱)											
・運行管理計画の作成	倉吉市											
③ 実証実験の必要設備・資材等の準備												
・グリスロ車両調達、車庫確保等	倉吉市											
・運行案内・乗降入力システムの整備	倉吉市											
・広告掲出の実施・クーポン発行等の検討	㈱中広、倉吉銀座商店街振興組合											
・観光コース予約システム等の準備	(一社)倉吉観光MICE協会											
・乗降場所等の案内看板・路面標示の設置	倉吉市、倉吉町並み保存会											
④ 実証実験の実施	倉吉市(地域おこし協力隊)、交通事業者(日本交通㈱)、社会福祉法人和、(一社)倉吉観光MICE協会、成徳地区自治公民館協議会、明倫地区振興協議会											
⑤ 評価検証と計画※の見直し	倉吉市(共創プラットフォーム)											

※「倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画」(令和3年度:素案作成、令和4年度:作成、令和5年度:改訂)

(補助事業実施後の予定)

●グリスロ運行の収入面では、付加価値を高めて利用者が負担を感じない適正な運送対価を設定するとともに、運送対価以外の収入スキームを確立した上で、市が不足分を負担する。

●支出面では、交通事業者協力型自家用有償旅客運送のもと、地域おこし協力隊とサポートドライバーによる運行を行うことで、経費を抑制し、持続可能な運行体制を構築する。

●将来的には、3年の任期を終えた地域おこし協力隊が運行主体となり、グリスロを運行しつつ、車内広告、移動販売、観光協会と連携した観光商品の販売や商店街等と連携したクーポン発行など、地域関係者との共創によるまちなかコミュニティビジネスの展開を目指す。

●令和7年度以降、グリスロの増車とサービスの拡大、ループバスの運行など地域関係者との共創の幅を拡大し、「暮らし良し倉吉」の実現に資する持続可能なモビリティの確立を目指す。



▲過年度実証実験の状況(ループバスとグリスロ)